

食育・すこやかフェスティバル

11月6日(土)【会場】綾部市保健福祉センター
認知症啓発コーナーでは、つなげ隊員による脳年齢テスト、アンケートの実施、啓発冊子、ティッシュの配布を行いました。

脳年齢テストでは開始と同時に多くの方が並ばれて、健康や認知症に関心が高いことがうかがえました。

- ★啓発冊子やポケットティッシュの配布 400名
- ★脳年齢テスト 107名
- ★認知症意識アンケート 102名

脳年齢テストは
1人だいたい5分



街頭啓発

9月は世界アルツハイマー月間です

国際アルツハイマー病協会は、世界保健機関と共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」とし、認知症の啓発を展開しています。

つなげ隊も街頭啓発を実施し、舞鶴市内の大型店舗2ヶ所において、午前中に来店する人々に声をかけながらチラシの配布をしました。

また、綾部市内では夕方の買い物客や高校生にチラシを配布しました。

各場所とも短時間でしたが、多くの方に受け取っていただき、中には「私は認知症です」「認知症になったらどうしたらよいのか？」などとお話される方もあり、認知症に対する不安や関心もうかがえました。

- ★9月21日(水):バザールタウン舞鶴 配布数 500名
- ★9月21日(水):フクヤ白鳥店 //
- ★9月23日(金):バザールタウン綾部アスパ //
- ★舞鶴総合庁舎・綾部総合庁舎・中丹東保健所の沿道に「のぼり」掲示



若年性認知症家族交流会

10月6日(木)に若年性認知症交流会が中丹東保健所で開かれました。当日は、ご家族6名が参加され、「お世話をしあげたいけど、私が働かないと生活ができない」「親の介護のことで話せる同世代がいなくて困った」などの意見が出ました。

認知症の人と家族の会京都府支部代表の荒牧敦子さんにも同席いただき、笑いあり、涙ありの交流会でしたが「考え方の整理ができた」「参加して良かった」「また参加したい」等の感想がありました。* 認知症を65歳未満で発症した場合「若年性認知症」と言います。



編集後記

つなげ隊のみなさんの協力を得て無事につなげ隊つうしん第3号を発行することができました。今回もつなげ隊の活動報告と隊員紹介が中心になっています。活動を通して、隊員たちの繋がりが強くなってきていて、日々、楽しく参加しています。つなげ隊つうしんが多くの方に届きますように。

《編集担当班》

発行：中丹東オレンジロードつなげ隊

【事務局】

京都府中丹東保健所

企画調整室

中丹東地域包括ケア推進ネット

中丹東オレンジロードつなげ隊

心でつなぐ、地域でつなぐ
「認知症」

認知症になっても安心して暮らせる
社会の実現をめざしています



第3号
2017年2月発行

認知症府民公開講座 開催報告

～もの忘れは怖くない 自分らしく あなたらしく～

1月21日(土)

舞鶴医療センター(認知症疾患医療センター)の精神保健福祉士小牧裕昭さんや、舞鶴市の民生委員西村佳子さんから、日々の活動報告をうかがいました。

また認知症の人と家族の会常任理事の鎌田松代さんからは、ご自身の介護体験談と、「認知症は誰でもなりうる。認知症の知識をもとう。本人と介護家族へも声をかけてくださいね」など教えていただきました。

つなげ隊も、ペープサートの寸劇上演の他、隊員の大機さんが作られたオリジナルの中丹東オレンジロードつなげ隊イメージソングを初披露させていただき、「素敵な歌に感動しました」と大変好評でした。



人前で歌うのは
緊張する～
(^_^)

ええ歌やあ



つなげ隊としての活動

【講演会の前に】

- ★認知症啓発チラシ等の配布

【講演会で】

- ★ペープサート寸劇
「ちょっと声をかけてみよう」
- ★中丹東オレンジロードつなげ隊
イメージソング「このまちに生きたい」初披露

【参加者】 104名

【会場】 舞鶴市西駅交流センター

海・森の京都 中丹“絆”フェスタ「知って安心“認知症”」

11月13日(土)

多くの人でにぎわったオレンジカフェでは、コーヒーなどを提供しながら、認知症意識アンケートに答えてもらったり心配事などをうかがいました。「認知症か。知人が介護しとってんや」「どう声かけたらええんかなあ」などの質問にも、つなげ隊員が相談先を紹介するなど丁寧に対応しました。

また、脳年齢テストでは、「最近もの忘れがひどくなった」など参加者の声が聞かれました。



つなげ隊としての活動

- ★オレンジカフェ来場者 415名
- ★認知症意識アンケート 248名
- ★脳年齢テスト 86名
- ★認知症啓発チラシ等の配布 1,000名
- ★中丹東オレンジロードつなげ隊
認知症啓発DVD上映

【会場】 舞鶴赤れんが倉庫 4号棟